



2017・3・1

第 265 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

自民党運動方針が改憲準備活動加速を宣言

「市民革命」でアベ政治に幕を

【マスコミ 9 条の会等】 現代の「市民革命」でアベ政治のペテンにとどめを、と題した講演会が 2 月 7 日、東京新宿区でひらかれ 150 人が参加しました。マスコミ 9 条の会と日本ジャーナリスト会議の主催。

集会では昨夏の参院選で長野選挙区から野党統一候補として当選した元 TBS ニュースキャスターの杉尾秀哉さんが講演。「NHK などの国会のやりとりもメディアの自己規制や萎縮が目立つ。何とかしなければと立候補を決意した」と立候補の経緯を語り、「2 人区から 1 人区に減り厳しい選挙だったが 57 万票と 07 年の羽田雄一郎票の 53 万票を越えた。野党共闘と市民連合がうまく機能したのが勝因。市民の後押しは大きく、参加型民主主義を伸ばすのがわれわれの務め」と語りました。

つぎに、市民連合呼びかけ人の中野晃一さんが講演し、「15 年に、シールズなど市民側が野党議員に呼びかけ、お仕着せでない、新しい参加型民主主義が誕生した。幅広い職業の市民たちが選挙運動にかかわるのは初めてのことでないか」と語りました。

講演終了後、2 人の対談がおこなわれまし

＜自民党＞

「平成 29 年度運動方針（案）」

＜抜粋＞

本年は憲法施行 70 年を迎える。次の 70 年に向けての新しい憲法の姿を形作り、国会における憲法論議を加速させ、憲法改正に向けた筋道を国民に鮮明に示す。

わが党は日本の歴史、伝統、文化を次の世代へと引き継ぎ「日本らしい日本」を守る。今後も靖国神社参拝を受け継ぎ、国の礎となられた英霊の御霊に心からの感謝と哀悼の誠をささげ、不戦の誓いと恒久平和への決意を新たにしてい

た。（「新聞 0B『九条の会』」第 95 条より）

SEALDs のたたかいから学ぶ

【大阪府・九条の会はんなん】 九条の会・はんなんが 2 月 18 日、創立 12 周年を記念して、ドキュメンタリー映画「わたしの自由について～SEALDs 2015～」の上映会を岸和田市で開き、184 人が参加しました。

副代表の中村千恵子さんは「戦争法反対のたたかいはこれからも続きます。シールズの若い人たちがどういう思いで活動してきたのかたくさんの人に知ってもらいたくて企画しました」と語りました。

参加した泉佐野市の山口亮さん（30）は「シールズの東京・渋谷のデモにも参加したことがあります。彼らの活動に刺激をうけながら、声をあげるのが大事だと思いました」と話しました。

野党代表も参加して各地で

【栃木県・戦争法廃止を求める19日行動の会】 栃木県内の「戦争法の廃止を求める19日行動」は2月19日、宇都宮市、鹿沼市など9市町で取り組まれ、各地の市民団体や「九条の会」などから約120人が参加しました。

宇都宮市の二荒山神社前では、「戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める栃木県民ネットワーク」と「宇都宮市民の会」の人ら約40人が並びました。横断幕、のぼり旗などを掲げ、チラシを配布。それぞれの会の代表らがリレートークしました。

「県民ネットワーク」の松木栄三共同代表は、南スーダンの情勢にふれ「自衛隊の武力行使によって、歴代の日本政府が確認してきた『海外で戦争はしない』という大原則に穴が明けられる」と指摘。「自衛隊を直ちに撤退させなければならない」と訴えました。

婦人団体を代表して伊藤直子さんが「稲田防衛大臣ただちに辞任を」とのポスターを手に、「戦争法を廃止しましょう」と呼びかけていました。

日本共産党、社民一党、新社会党の代表らが参加しました。

地域の団体と協力しパレード

【千葉県市原市・市原9条の会等】 千葉県市原市の「9条の会」や「生かせ憲法・市原市民連絡会」、「市原・憲法を活かす会」は2月19日、買い物客でにぎわう市原市の商業施設周辺で、「アベ政治を許さない！市民パレード」を行い、約90人が参加しました。

参加者は信号待ちで立ちどまるなか、「一昨年7月から、憲法違反の安保法制＝戦争法を強引に進める安倍政権に抗議する市民パレードを始めて今回で20回目です。立憲主義を否定し、平和憲法を破壊する安倍政権の暴走を止めよう」と訴えました。

パレードで参加者は、ラッパや鳴り物を手に「安保法は今すぐ廃止」「野党は共闘、市民も共闘」「戦争させない子どもを守る」「憲法9条ありがとう」とアピール。

「自衛隊員を無事に帰還させて」と

【青森県・青森県九条の会】 青森県九条の会は2月19日昼、青森市駅前公園で戦争法廃止と安倍政権退陣を求める19日行動に取り組みました。

安倍政権が立憲主義、民主主義、憲法をないがしろにし戦争法案の採決を強行した2015年9月19日を決して忘れず、廃止まで行動し続けようと「総がかり行動実行委員会」の呼びかけに応え、同年10月から毎月行われているものです。

17回目の行動となったこの日は、吹雪の中、「アベ政治を許さない」「戦争法は廃止」

のポスターや手書きで「自衛隊の皆さんを無事に帰還させて」と訴えるポスターを掲げる人など13人が参加。降り続く雪に耐えながら、約30分間、サイレントで市民へアピールしました。

電話で南スーダンと結び情勢報告

【宮城県・仙台市・石巻市地】 宮城県の安保法制（戦争法）廃止と自衛隊の南スーダンからの即時撤退を求める19日行動は、仙台市と石巻市で取り組まれました。仙台市では、元鍛冶丁公園に250人が集い、集会の後、一番町商店街など中心部を「南スーダンは戦闘状態。危険な派遣はすぐ中止」とアピールして行進しました。

野党共闘で安保法制を廃止するオールみやぎの会など4団体が主催し、同会共同代表の佐久間敬子弁護士は、「危険な南スーダンから一刻も早く自衛隊員を撤退させよう」と呼びかけました。

現地で支援活動をする日本国際ボランティアセンターの今井高樹氏と電話で結び、現状を聞きました。今井氏は、国の北東部と南で激しい戦闘が起きていると述べ、「自衛隊が宿営するジュバは軍事的には比較的安定しているが、自衛隊が活動する国連避難民保護施設は中でも一番不安定な地域」だと述べ、安全とは言えないことを報告しました。

リレートークでは、歌声9条の会が憲法を守ろうと訴え、鶴見聡志弁護士が「共謀罪」に警鐘を鳴らし、子ども連れで参加した医療関係者や、安保法制廃止を求める女性議員・元議員有志の会が廃止への決意を語りました。

石巻市では、石巻市9条の会が蛇田交差点でのスタンディングをしました。

手をふってくれる高校生も

【愛媛県東温市・東温9条の会】 東温9条の会は2月20日、北野田交差点で戦争法廃止のスタンディング宣伝をしました。11人が参加し、「憲法9条を守ろう」のプラスターと「平和憲法を守ろう」の横断幕を掲げてアピール。高校生が手を振ってくれました。

西下光男事務局員と森真一市議が訴えました。

西下氏は「自衛隊を派遣した南スーダンでは、戦闘が行われていたにもかかわらず、安倍政権はごまかして派遣を強行した」と批判。「自衛隊員の命を軽々しく扱うことは許されない。南スーダンからただちに自衛隊を撤退させよう」と呼びかけました。

街頭の対話でこんな声が

【京都市・修学院学区九条の会】 修学院学区九条の会では、月3回修学院学区の皆さんと平和について語りたいと署名行動をしています。

街の皆さんとの会話です。

*節分の2月3日、造形大前で署名された職員さん(?)2名から「つうしん」を届けて欲しいといわれました。

*南スーダンへの他の援助方法を考えないとな(中年男性)

*戦争しないことに賛成です(中国からの留学生)

*徴兵制になったらかなわんし(男子学生)

*次はロシアが攻めてくるで(男性)

*いずれ自衛隊も武器持たんならんとちが
う (中年女性)
(「九条の会修学院学区つうしん」 No72)

楽しく決意かためあった憲法カフェ

【札幌市手稲区・新発寒九条の会】 2
月4日の「9条のパプ」。29名が参集し、総
会と学習会、新年会が行われました。

柴田代表のあいさつのあと、片山事務局
長が「活動報告と方針」を提案、全員の拍手
で承認されました。

ケストにお呼びした阿部紘司さんは、「戦
争させない西区9条の会」の事務局長、安倍
政権の戦争する国づくりが、すでに8割が
た進んでいると言ひ、共謀罪の危険性を告
発しました。こういう時だから、9条の会
の活動を広げることが重要で、先進的に活
動している新発寒9条の会に注目している
と述べました。

10名の会さんが分担した手づくりの料理
がずらりと並び、さらに有志からの差し入
れも。きれいなポスターも飾られました。
各テーブルからのスピーチもあり、笑顔あ
ふれる楽しい集いとなりました。

後に、こんな令状が届きました。

「心配したくなるような安い会費で、ビー
ル、ウーロン茶と女性会員様のおいしい料
理をお腹いっぱい頂きました。また各テー
ブルに座られた代表の皆さんの安倍政権打
倒、9条を守るぞ！のアピールをお開きし
改めて心強い思いをいたしました。(M)」

なお「出席できないがカンパに」と参加
券を買ってくれた会員さんが、他に40名い
ました。

(「新発寒九条の会つうしん」第64号)

質問にお答えします 全国的な統一署名について

九条の会事務局

<質問> 全国的に取り組む署名について質問し
ます。2000万署名が一段落して以降、新たに9
条を守り生かす署名に取り組む必要があると思
いますが、「九条の会」としてはどのようにお考
えですか。

<返事>

「九条の会」は、2004年6月10日の「九条
の会」アピールに賛同した方たちが、全国の地
域、職場、学園で、それぞれ独自の会を結成し
て活動をして来ました。

一つひとつ自立した各「九条の会」の活動を
把握し、全国の多様な運動をニュースの発行な
どで交流させる役割を担って来たのが、「九条の
会事務局」です。

「戦争させない。九条壊すな！総がかり行動実
行委員会」で提起した、戦争法廃止2000万人署
名にも、全国各地の「九条の会」が、それぞれ
自発的に取り組み大きな成果を上げました。全
国的な統一した行動にも、各「九条の会」の独
自の判断で参加しています。

各「九条の会」の自律した活動が、日本社会
を草の根から変えていく運動を発展させること
に貢献して来たと、事務局としては判断してい
ます。